

〇
千九百四十三年八月

各轉住所内に現在居住して
居る日系人の隔離

ワシントン市

戰時轉住局

訂 正

第四頁——最後の三行目

「訊問の折に米國に忠実であるか或は……」とあるは「隔離される者として指定される。此際隔離指定を受けない者は第三部に編入され、外部移住許可を得、資格に就いては、後程、更に再審問の上、決せられるのである。」と訂正

第五頁——第三部の最後の一節

「上記の第三部に含まれて居る者は……云々」とあるは「上記の第三部に含まれて居る者は、転住所内に於て、外出許可に就いて審問が行はれ、所長によつて外出許可を拒否されたる者は隔離される。」と訂正

第六頁——中央——ハ及びニ

ハ「第三部に屬して居る者の中で轉住所長によつて外出許可を拒否されたる者」と訂正
ニ「其他の者で、近親者の都合上ツリーキー行を望む者は所内社會救濟部との相談の上で自發的移動の許可を得る事も出来る」と訂正

第六頁——最後の五行

「第三部に含まれて居る者も同様に……云々」とあるは全部削除され

「調査委員の訊問に出頭した者には、訊問終了後、直ちに文書をもつて其結果を通知せられる。」と訂正

以上

戦時轉住局の隔離計畫

戦時轉住局は各轉住所内に居住して居る日系人の總ての福利に關して責任を有つて居ることをある。然し此の責任の遂行は、轉住所内に在ける居住者の大多數が忠良なる米国人たらんと欲して居る一方、一部の者は米國に忠實でなく、又米國の戦争遂行目的に同意しないと言ふ事を明示して居る者、非常に困難である。戦時轉住局は之等の二種の異つた態度を示して居る居住者に對して責任を有つて居ると同時に、米國の利害を保護且つ促進する責務をも有して居ることをある。

轉住局は慎重な審議の結果、米國の制度の下に生活せんと望む者と、米國の利害に逆ひ融和しない所の利害を保持する者を分離すべし、轉住局としての責任を全うする事が出来ると言ふ決論に達したものである。

依つて隔離計畫の順序が取極められたのである。轉住所居住者にて米國に忠實でないか、或は好意を有して居る者は、他者とは、ツレー、レーキ轉住所に移され、ツレー、レーキ居住者にて、米國に忠實であり、或は好意を有して居る者は、他の轉住所に移されるか、又は出来れば、外部移住許可を與へられるのである。隔離完遂後、轉住所に在る居住者は、米國の繁榮と密接な關係ある利害を有する故を以て、轉住所より外部に移住する資格を備へた者より成ることをある。

隔離は、ツレー、レーキ轉住所に移される者に対する

處罰又は刑罰として行はれるのではない。戦時轉住局は米國に對する誠実に欠けて居るか或は日本に負願して居ると率直に斷言した所の日系人の誠意を認めるのである。ツレー・レーキに移された者は、外出の特権を與へらるゝのであるが、彼等の場合は現在の轉住所に居残る事が出来たとしても、此の特権は得らるゝのである。

隔離は米國人として生き又同時に妨げらるゝ事なくアメリカ魂を發揮せん事を切望して居る所の立退者に米國人として生きる賴しい機会を與へるのである。又轉住所内に於て和合を確かにもたうすであらう。又外出許可を得た者が外部に於て歓迎される可能性を増し移住を接ける事になるのである。

隔離される者の選定は公平と公明正大を以て行はれるのである。余は隔離は移動しなけれはならない人々に可成り不便を感じせしめる事を認めるのであるが、國家の爲又數万名の誠意である米國市民及法律を遵守する非市民の福利の見地から見れば、此の手段は正當であると信ずるのである。

轉住所内の居住者は皆残らず隔離計畫の主旨及其の遂行方法に通曉して関係者の總てになるべく困難を與へないで必要な調整を可能にする様に勧めたのである。

戦時轉住局長

デイロン・エス・マイヤー

。如何にして隔離が遂行されるか。

自分の祖国或は血族的系統を引いて居る所の国と交戦中の国に現に在任して居る者は、自分が利害を共にし、又同時に自分の支持を捧げる事を折言ふ所の国を選ばざるに迫られるのである。現在轉住所内に居住して居る日系人は個人的選擇の自由を行使し各自其の行處によつて、其の申立を立證する機會を既に與へられて居るのである。

誰がツレレキ轉住所に移さねばならぬかと言ふ事を決するに當り、轉住局は各自のなした申立と本人の行處が其の申立を立證して居るか何うかと言ふ事を慎重に考慮するのである。

多数の外国生れの者は、法律上の制限の存ばかりに忠実なる米国民となす事が出来な、と同時に、又法律上米国民でありながら、今次の戦争に於て、断然、日本員である者が居ると言ふ事實に鑑みて、當局は市民権の有無は考慮に入らな、隔離を遂行するのである。

参考となる重要なもの一つとして考慮されるのは、本年の二月及三月に各轉住所に於て行はれた登録に用いられた質問書の中、質問が二十八番の答である。是れは日系米国民に對しては、米國に誠忠を誓ひ、同時に他の國に對する誠忠を棄絶するや否やとの質問であり、非市民に對しては、米國の法律を遵守して、米國の戦時奴力を妨げる様な行處には出ないと言ふ事を約するや否やとの質問であつた。此の隔離計畫の説明には、此の

兩様質向を質向カ二十八番と稱する事とする。

。立退者の類別

隔離計畫遂行の便宜上轉住所内の居住者は、四つの異つた部に類別する事が出来るのである。

カ一部

別に訊問なしに隔離される者、此の中には本年七月一日以前に正式に本国帰還或は米国々籍離脱を申込んで七月一日以前に撤回しなかつた者を含む。

カ二部

た事によつて、米国より寧ろ日本に忠実である様に見える者、此の部に含まれて居る者は、各自隔離決定再調査委員の訊問に出頭して、日本員贖員又は日本に忠実であると言ふ證據が實際本人の行爲と相違なく一致して居るか何うかと言ふ事が確かめられるのである。此の中に含まれる者は、質向カ二十八番に「否」と答へて、七月十五日以前に「はい」に答へなかつた者、登録を拒んだ者及登録し乍ら、

質向カ二十八番に答へなかつた者。

再調査委員によつて行はれる所の訊問は、比較的簡短である。従前通りに日本員贖員である者は、隔離される者として指定される。訊問の折に米国に忠実であるか或は米国員贖員であるとの言明に署名した者は、カ三部に編入され、外部移住許可を得る資格を

第三部

備へて居るか何うかに就て、後程、更に審問の上決せらるゝのである。

米國に忠実である事或は米國員としてある事を言明して居るにも拘らず、以前の言明又は他の證據の爲、其の誠忠或は員として疑はしき者、此の部には、左の者が含まれて居る。

イ、イ部より編入された者、

ロ、登録當時に質問が二十八番に「否」と答へて七月十五日以前に「はい」と改変した者、

ハ、同質問に「はい」と答へたが、條件を附けた者、

ニ、本國帰還又は国籍離脱を申込んで七月一日以前に撤回した者、

ホ、米國に對する誠忠に欠けて居る證據が外にある者、

ヘ、轉住局長に外出を拒絶した者、

上記のイ三部に含まれて居る者は、轉住所外出許可部によつて訊問が行はる申請者の誠忠を確かめ、外出許可を得る資格を有するや否やを決定する事の出来る徹底的訊問が行はるゝである。

外に出る資格を有する者、此の部に属する者は隔離せらるゝのである。

第四部

○ 誰がツレ・レーキ轉住所に移されるか

次の條項に含まれて居る者はツレ・レーキに移される。

イ. 一部に属する者全部。

ロ. 二部の者の中で再調査委員によつて、米國に忠実でないか或は米國顛覆でないか認められる者。

ハ. 三部に属して居る者の中で轉住所外出許可部によつて外出の資格を備へて居ないと断定された者。

ニ. 四部に含まれて居る者で、家族と一緒に住む事を望む者、此の様なツレ・レーキへの自発的移動は轉住所社会部と相談の上許可を得る事が出来るのである。

○ 再調査委員による訊問の通知

二部に属して居る者は各自隔離に關して其の身分を牛紙にて通告され再調査委員によつて行はれる所の訊問に出頭する日と場所が指定される。三部に含まれて居る者も同様に身分に關する通知と訊問に出頭する日と場所に關して通知を受ける。

再調査委員の訊問に出頭した者は訊問終了後直ちに其の結果を文書にて通知されるのである。

○誰が轉住所に居残るか

隔離完遂後に轉住所に取り残れた者は皆外部移任の資格を備へて居る者であつて轉住局は従前通りに外部に移住して順當な生活と營生を望んで居る者に援助を與へる爲に努力を續けるのである。

●移動順序

移動される者はツレ・レーキ轉住所に移動される事が決まり次第、直ちに社會部と相談に差し向けられる。此の相談の結果次の様な事が決められる。

- イ 本人は旅をする事が出来るか、出来るとすれば特別便宜を要するや否や。
- ロ 家族の者で誰が同伴を望むか。
- ハ 本人又は其の家族は外に如何なる援助を要するか。

或る場合には家族全部の本国帰還又は国籍離脱を家長の署名の下に申請して居る。斯かる場合には家族の者で申請に自ら署名しなかつた者は本国帰還或は国籍離脱を申請又は拒絶する簡單な陳述に署名する事を要求される。此の陳述は轉住所長にツレ・レーキに眞先に移動する者の正確な名簿の作成を可能にする爲に八月十日迄に完了されなければならない。

年齢或は男女の別なく本国帰還或は国籍離脱申請に
本人自ら署名する事を要求する方針はツレー・レーキ轉住所
に行く者は米國に忠實でないか、さもなければ米國の戦争遂行
目的に同意し得ないと言ふ事を立證する自分が行及陳述
の結果、行つて居るのであると言ふ戦時轉住所當局の原則と一致
して居るのである。

旅が出来ない病身の者は充分に快方に向ふ迄はツレー・レーキ
轉住所に移さないをあり、又近親の者も一緒に居残る事を
許される。病気の者に必要とする特別許可或は旅行中の特別
便宜は轉住所主任医師によつて認定される。

ツレー・レーキに移動される者は前以つて通知を受けるのであつて
此の通知は出発の日と乗る汽車を含み暇乞ひに廻るに必要な
時間を與へる事が出来る様になるだけ早く発せられる。

轉住所よりツレー・レーキに移動する事になつた者は政府所
有物を返却する手續をとつたり回送しなければならぬ自己
の所有物のサ何作りをしたり宛名を書いたり必要な準備を
して居なければならぬ。家庭用の必要品のみ即ち實際に使用さ
れて居る物品及自製家具等は回送貨物を政府が支拂ふ事にな
つて居る。之等の所有物は回送には貨物として取扱はれるのであるから
所有者がツレー・レーキに到着して二ヶ月後迄届かない事になる
かも知れないのである。

故に隔離される者は此の期間に必要なと思はれる着物、家庭
用品等を携へて行く事が肝要である。之等の物は手荷物
或は小荷物として携へられるのである。小荷物は一人前汽車賃

に對して百五十所に限られて居るのであつて汽車にて旅行中には使用する事は不可能である。

牛荷物には旅行中に必要な物だけ倉を事にしなけれはならない。

自分の荷物及貨物をちゃんと用意して姓名、住所、家族員人数及目的地を明瞭に記す事は隔離される者各自の責任である。必要の荷物は給與される。貨物として取扱はれる品物は所有者出発の少く共二十四時内前に箱に入れて荷作りが整つて居なければならぬ。

特に鐵道が過重の使命を果して居る戦時に於て數千名の老若男女をツレー、レーキ轉住所に移し強と同数の者をツレー、レーキから六ヶ所の轉住所に移すのは複雑且困難な仕事である。轉住局は陸軍當局の協力を得て移動する人々になるだけ不便を與へない様に此の大集團的移動を完遂すべく周到に計畫して居るものである。移動汽車にはそれとなく轉住局の代表者が乗つて居て立退者に援助を與へる。旅行中は汽車の中で食物が供せられ又医療、看護婦の便宜も計られ幼児用の乳其の他の便宜も供せられるのである。

轉住所主任医師の必要と認めた場合には老人又は病身の者は旅行中に寢台を與へられる。然し一般の者はコーナにて旅行する事になつて居る。

○ ツーレ・レーキ・轉住所が選ばれた理由

加州北部に位する所のツーレ・レーキ・轉住所が隔離所として選ばれた四つの理由は次の通りである。

一 一万五千名を收容し得る設備を有して居るつて隔離される者の全部を收容する事が出来ると見られて居る事。

二 農場が良く耕作されて居り轉住所居住者に廣く肥田の職と食料を供給し得る事。

三 ツーレ・レーキ・轉住所は他の何れの轉住所よりも隔離される者を多數有して居るつてあるから

四 隔離実施に伴ふ移動者の数を減少する事。
轉住所は護衛を必要とする立退区域に位して居る故に外部移住の費用と困難を増して居ると言ふ事。

○ ツーレ・レーキ・隔離所々長

ツーレ・レーキ・隔離所を旨く支配する事の出来る晩に全幅の信頼を寄せて居る轉住所長マイヤー氏の仕命の下に八月一日にレーモンド・アル・ベスト氏がツーレ・レーキ・隔離所長となつたのである。

10 ミシガン州カラマズー市の近くで生れたベスト氏は少年時代より西部に居るを定め過去二十五年間アイダホ州に住居を

有して居たのである。十九百四十二年四月に戦時轉住局の一員として轉職する迄は農務省内の各部署に長年勤めて居たのである。

ベスト氏は組織當初よりの戦時轉住局の卒先者の下であつて最初には各轉住所の設立及供給に援助をなしたものである。又初めユター州モアブに設立される現にアリゾナ州ルツプに移されてゐる收容所長に仕せらるる以前にミニドカ轉住所に於て六ヶ月の勤務したものである。モアブ及ルツプに於てベスト氏は居住者の信頼と誠実を勝ち得た上公平且思慮深い取扱ひによつて評判となつたのである。

第一次世界大戦に於てベスト氏は米國海兵隊の一員として活躍したものである。因に氏は家庭の人であつて三人の息子がある。二十三才の長男ロバートは米國航空部隊員であり次男ジヤック(十四才)と三男レーモンド(十才)は両親と一緒にツレーレーキに居住するものである。

○ ツレーレーキ隔離所の経営

現在に於けるが如くツレーレーキ隔離所の経営は戦時轉住局が全責任を有するのである。詳細の多くは未だ決定を見て居ないがツレーレーキは各轉住所に通用系で居る大体の方針の下に従前通りに經營される。但し次の二つの例外に於ては著しい差異を見るのである。

一 ツーレ、レーキ隔離所内の居住者は外出の資格を有して居ないものである。

二 自治制を規定して居る所の轉住局方針は適用されないものであるが、立退者を代表する所の諮問にあつかる所の会議が設けられる。

此の点を除く外、ツーレ、レーキは他の轉住所に類似するものである。

各轉住所に於けるが如く、外部的保安は陸軍が責任を負ふのであつて、内部的秩序は現在轉住所に於て実行されて居る制度の下に居住者が自ラ保つ様に計畫されて居るのである。

ツーレ、レーキ隔離所は西部防衛管区内に位して居るが、短波ラジオ、無線機、其の他の物は禁制品として所有を禁ぜられて居る。之等の禁制品のリストは轉住所内部保安課に於て得る事が出来る。ツーレ、レーキ隔離所に到来した者の所有荷物は陸軍當局によつて禁制品検査が行はれる。郵便物の検査は、戦時に於て國家の安全の爲に検査を行ふ権限を有する陸軍によつて決せられるべきである。

轉住所に於けるが如く、小學校及中等學校が備へられる。然し子供が此の米國の學校に通ふ機会を與へられるか、何うかと言ふ問題は父兄によつて決せられるのである。立退者の望む他の種の學校は米國政府の費用を要しない限り、父兄によつて設立經營する事が許される。政府經營の學校に通ふ兒童は放課後、他の學校に通ふ事を許される。

成人教育及職業教育が備へられる。

ツレレキ隔離所に於ては信仰の自由が認められる。其に
し団体神道は日本政府によつて宗教と看做されて居るが故
宗教として許されるのである。

病院及充分な衛生施設及プログラムが備へられ財産及
所有物に因して法律上の相談及援助が與へられる。隔離所内
の秩序安全を妨げた限り暇の利用に因しては束縛はない。

隔離所内に英語或は日本語新聞が発行される。若し希
望とあれば両語新聞が許される。仕事は自発的に決せられる
由題であつて衣服給與を含む給料は轉住所に於けると
同様である。失業補償金(手當)及救済金は戰時轉住局
が支拂ひ特殊勞働者には作業服が給與される。

協同消費組合の事業は繼續される。ツレレキへ移される
者はツレレキ協同消費組合に参加する事が出来る様に
轉住所内の組合事務所に於て手續をするか或は會員費の
拂戻しを得べきである。會員への割戻しはツレレキへ移され
る前又は移された直後に支拂はれる。

轉住所に於けるが如く住宅は大体家族を本位として割當て
られる。

ツレレキ隔離所内の居住者は外部に在る親戚の病氣
見舞或は葬式に行くには所長の許可を要するものである。異常の
場合を除く外斯様な外出は関係者の自費にて行はれるのであつ
て又最少限度に許可される。

外部に居住する者が親戚又は友人を訪問する許可を得る
には前以て隔離所長に申込むのであるが所長はかかる訪問

が不適当であると見た場合には許可を與へる事を要しない。

隔離完遂後には異常の場合のみツレ、レーキへ移動する事が許されるのである。

ツレ、レーキ隔離所内に在る者は、戦時轉住局の指令による居住であらうと自発的の居住であらうと適用される所の方針、規則及規律の全部の支配下にある事を念頭に置かねばならない。

○ 上訴する権利

隔離遂行の結果生ずるかも知れない所の不公平を匡正する方法を與へる爲に隔離完遂後にツレ、レーキ居住者の上訴を審査する上訴委員が設定される。

不正當に隔離されたと信ずる居住者は上訴委員に審問を申請する事が出来るのである。此の審問に於て申請者は自己の申立を充分になす機会を與へられる。上訴委員は居住者の轉住所移動許可を推薦する権限を有するのである。

隔離完遂後ツレ、レーキ隔離所に自発的に居住して居る者にして轉住所に移る事を望む時は同様に上訴委員に申請して許可を得るのである。

○ 雜件

現行法ではツレ、レーキ隔離所へ移された者又自発的

に居住して居る者の市民権には何等の影響もない。

本国帰還又は国籍離脱を申請した者が何時日本へ送還されるかを豫告する事は不可能である。スペイン大使館を通じて日本政府が提供したリストに基づいて交換される人が選定される事になって居る。此のリストに含まれて居る者は従前の如く通告を受けるのである。

理由あってツレ・レーキ隔離所に移来して居るが本国帰還も国籍離脱も申請して居ない者が日本政府の交換リストに含まれて居る事は有り得るのである。此の場合には日本へ帰還しなければならぬか何うかと云ふ事は、米國々務省によつて決定されるのである。

米國市民にして国籍離脱を申請した者が戦争終結後米國に留まつた場合の身分に關しては豫測する道はないのである。此の尙題は戦後の條約米國國會制定の法律及現行法の解釋に依るのである。

徴兵制度が日系市民に適用される事となつた場合にはツレ・レーキ隔離所内に在る米國市民は除外される様な事は全然ないと推定されて居る。

るものなり 若し故意或は故意にあらずして規定に違反したる場合は逮捕
拘留又は戦時中監禁されることあるべし

不審の點ある場合は合衆國檢事に問合せられたし

貴君にして若し宣誓に依りて放釋せられたる者(ペロリー)
なるか、或ひは國外放逐の處分をうけたる(デポティー)者
なる時は總このペロリー及びデポティーに摘要せらるゝ、
一般法令に従はざるべからず。又檢事總長に依りて發せら
れたるペロル令に含まるゝ特別の訓令を遵守せねば
ならぬものなり。

War Relocation Authority
Dept. of Interior
February 1945

- 三 若し姓名、住所又は職業を變更せる場合は直ちにペンシルベニア州費府の移民歸化局外人登録課並にF. B. I. に變更の旨を通知すべし 各自の『身分證明書』に各自の通告すべき地方のF. B. I. の所在地は記載しあり
- 四 大統領令に據り禁じられたるレデオ發受信機、短波レデオ受信機、寫眞器、銃器及び其の他の禁制品の所有保管、支配又は使用^は許されず
- 五 各自居留區域(市町村)外への旅行は許可證を必要とし旅行七日前に最寄の合衆國檢事局へ出頭し許可證の請願をなすべし 出頭不可能の場合はその理由を陳述し請願書を提出すべし 緊急の場合に限り七日以前に許可證の下附あるべし 合衆國檢事は出發及び歸還の時日、旅行の目的、訪問地名記述の請願書を要求すべし 自己の居住地外にある場合は常に該旅行許可證を携帶すべし
- 六 縱便の飛行機又は空中機による旅行と公衆に開放される又は接近を許されるすべての公道、水路、空路、鐵路、地下道、公供施設(發電所、

水源池、電信電話類)又は建築物へ立入り或は立寄りは許可されず

- 七 旅事総長の指定により敵國外人に對し禁入されたる地域に立入り或は居留すべからず

- ハ 商用にて数回の往復を要する場合は縱便の、かかる旅行又は往復に對し單一の許可證を請願し得るものとす 然して商用の性質、往復回数、往復の地名を記述しかかる商用旅行の許可を請願すべし 許可されたる場合は合衆國檢事はかかる旅行の許可されたる旨を『身分證明書』に記入すべし

- 九 外國旅行に關する取締法に據らずして合衆國より出國する事を得ず 外國旅行取締法に關しては華府外務省に照會されたい

『記憶すべき事』

敵國外人の行動に關する布告令並に規定を遵守することに依り他の敵國外人と同様に行動の自由、利権及び特權の行使を附與される

INSTRUCTIONS FOR ALIENS OF JAPANESE NATIONALITY
LEAVING RELOCATION CENTERS

外部へ轉住する一世の遵守すべき注意事項

市民に非らざる然るの日本人は他の敵國外人と同等の待遇を享くるものなり
轉住所出所後は他の敵國外人と同様合衆國內を自由に旅行し得るものなり
一勿論合衆國檢事の許可證を要し又檢事の指令に従ふべきものとする

先記事項は諸君に對する報導及び一般參考手引きなり 熟讀の上疑念の
ある節は最寄りの合衆國檢事に問合はるれ度し 檢事は快く協力を説明
の勞をとるべし

一 各自は常に身分證明書(外人登録書)を携帯すべし

警察官又は係りの政府の官吏に該證明書の提示を求められたる時は快く
之に應ずべし紛失せる場合は直ちに附近の合衆國檢事に其の旨を通知
すべし

二 法規上の姓名のみを使用すべし 他の姓名使用の場合は使用前に合衆國
檢事に許可證の請願をなすべし

『聽く可き聲』

曰系米國市民に實する陳述書抜萃

米國大統領

ローズベルト氏

陸軍長官

スチムソン氏

米駐日大使

ジョセフ・グルウ氏

F.B.I.長官

エドガー・フーバー氏

戦時人的資源局長官

ポール・マクナット氏

その他諸名士

米國陸軍長官發表の一 部

大統領から陸軍長官への書簡

(日系兵戦闘部隊編成に関する陸軍省の發表に對し大統領から陸軍長官に宛てた書簡 一月二日)

「陸軍省が忠誠ある日系市民の戦闘部隊を編成し、既に服役してゐる五千人の日系兵士と共に國家に貢獻する機會を附與した事は余の非常に欣快とする處である。今日迄軍事上西部沿岸よりの立退き問題、繁植の爲、一時日系市民の兵役問題を中止したが、今同様に國民の義務の一要素たる兵役義務を日系市民に復帰せしめた事は自然的且つ最も合理的な手段であり、市民の祖先の血統如何を問はず、市民としての義務を果せる事はデモクラシーの眞髓に叶ふ事である。これは忠誠ある市民の信じて疑はない所であらうと思ふ。

此のデモクラシーこそ吾が國家の根本原理であつて、美國は建国以來民族並に其の祖先の血統の偏見的差別的政策に據らず、此のデモクラシーを根本政策として國家が統制されて来たものである。斯くして眞の美國人は國家に忠誠があり、自由とデモクラシーを信條とするものである。故に忠良なる米國人には協力一致兵役、軍需工業、農業及び他の重要なる産業に服事させ國家に最大の貢獻をする機會を與ふべきである。

最後に陸海軍省、人的資源統制局、司法省及び
W. R. A 當局等が戦時政策に協調し、国民を適材
適所に配置し、戦争を遂行して行く事は余の最も
欣快とし、又感銘とする所である。

一九四三年二月一日

フランクリン・デール・ローズヴェルト

スティムソン陸軍長官殿

スチームソン陸軍長官の聲明

國家の戦争に参加して戦ふ事は祖先の血統如何に拘はらず忠誠ある市民の持つ先天的權利である。非常時事態の見地から此の權利行使に制限を加へられた場合は出来るだけ早くその障害を撤回しなければならぬ。國家に對する忠誠の聲は何時たりとも耳を傾けられるべきである。

此の意味から余は今回、此の根本的亦米國民の信條が戦争遂行の爲、無視されあつた實証を亦し得ることを欣快とするものである。

米国々務長官特別補佐

前駐日米国大使

ジョセフ・シー・グリュウ氏

「グリュウ前駐日大使の一九四三年四月廿六日紐育州スネクテデーのユニオン・カレッジに於ける演説から……」

『日系米国市民は米国人の中でも尊き存在である。余は彼等の存在する事を歓迎し、且つ極く少数のものゝ心なき振舞や悪評のある爲に、信頼も出来且つ忠誠亦大多數の二世等が苦き負擔を課せねばならなかつた事を非常に遺憾とするものである。彼等日系市民の中には米国の何處にもあるやうな立派な性格の持主が一個人的に見て一存在してゐる。且つ彼等の多くは米国の自由を酬いんとするに熱心であつて特に戦争の目的遂行に當つては如何なる難事をも敢行しやうと努力して居るものである。余は米国政府が二世に対する差別的拘束を早くも撤回しより良くと遇するに至つた政策を是認するものである。殊に軍部が彼等の實力を世界に向つて披瀝し得るやう、此の米国市民達に機関を聞いた事に関し讃辞を惜まぬものである。』

『彼等の日本に対する関係は我等の英国に対し、スコットランドに対し、アイルランドに対し、或は獨逸に対し、或は佛蘭西其の他の国家に対すると同じ関係にある。彼等は米国人であるが旧国家の人から見れば新大陸の中にある。』従弟達である。余等は大西洋を越えて彼方にある従弟達に就いて誇りを感ずるものであるが、それが爲に米国人たるの價値をそれだけ下げるとは愚い。之と同じ意味に於て、余は共通の自由亦此の米国民の生活に、貢献しやうとする彼等、即ち太平洋の彼方に在る祖国から受継いだ彼等の衷なる美点をもつて此の米国に貢献せんとする日系の米国人を尊敬するものである。』

『我々米国内に住む者は、眞の意味に於て將來に対する模範人たるべき使徒だと言ひ得る。我々は如何に国内の人種が別れ居り散養が違つてゐてもおろの善意に依り、斯く偉大なる文化を達成し得る事を世界の人種に對し披瀝せねばならぬ。』

我々米国内にある縱つての人種、凡そ宗教を奉ずる人達は暴虐の軍國主義の罪惡に對して戦ふものである。

我々は傲慢で自らを神と等しくする日本軍部の排他主義とは何等の一致点をも見出せぬのは、恰度アリア派の獨尊的獨逸軍部に一致出来ぬのと同じである。世襲的階級とか

特權の存在する處にはこれに挑戦し打破してゆく此の米国内に於いて、日本米国人の貢獻の如きは眞に價値あるものであると言ひねばならぬ。何故すれば第一に彼等は人種を超越した自由國家に於ける生きた存在であり、第二には、彼等が此の米國の全体的文化に對し健全なる價値ある貢獻を爲すからである。』

戦時情報局長

エルマー・デヴィス氏

(去る四月廿三日全米に放送したデヴィス戦時情報局長講演の一部)

東京に於ける米国艦行士の虐殺事件は米国人に完全な勝利を得なければならぬと云ふ確固たる闘争心を惹起させたに過ぎなかつた。おそろしく此の決意は總ゆる種族の米国市民の心に湧き出た事と思ふ。

茲に或る新聞の論説を抜粋してこれを紹介したいと思ふ。

『我々は今日太平洋対岸の敵が如何に残虐性を有して居るかを認識した。これに依つて我々は迅速且つ完全な勝利に我が国を誘導するためには全能力を發揮しなければならぬ。そして米国人は此の戦争は媾和交渉に依る戦争終局には我慢出来まいであらう。我々は樞軸敵国を無條件降服させなければならぬ。否、我々は其の決意を居る。敵国には對約は皆無である故、我々は生活の安定等を圖る爲には完壁な軍事的事的戦勝に依つてのみ得られるのである。』

市民協會が發行の「シンヒューク・シティズン」に依ると、米国内生れ自由と平等主義の米国信條の基に教育された日系市民は米国人同様、観念を有して居る事が解る。

ミシシッピ州のシエルビー兵営には約三千名の日系市民が勤務して居り、東京の産穀の報に接するや、給料で戦時公債を買ひ、之等日系市民の其の情報に対する反響を如實に物語つて居る。尚、其の他ハワイ及び西部の轉住所より來る兵役に服して居る数千名の日系市民も此の固く忠誠で他の米国人同様、其の復讐心に燃えつつ居る。

陸軍次官室事務官

大佐 W.P. スコビー

日系米国市民に依りて編成される戦闘部隊が米国陸軍中隊でも有数の優良部隊たることを希望する。

此の戦闘部隊は他のコーカシヤ人種の部隊の中に加はり、他の部隊と共に交戦するものである。

米国陸軍省は忠良なる日系米国市民に信頼する。之は又日系人が米国に信頼することを米国人及び陸軍省に知らしむる絶好の機会でもある。

此の計畫が成功し、多くの志願兵を出すことは日系人の東部再移住計畫を進捗させる上にも大いに役立つと思ふ。

戦時情報局次長

ミルトン・エス・アイゼンハワー氏

(日系市民協会機関誌パシフィック・シテズンへ寄せた書簡)

余は軍部が忠良なる日系市民に対し軍隊に服役する機会を再び與へた時には他の幾百万の米国人同様非常に欣快とした處である。

入隊する事の出来る貴日系市民は戦争に参加しより良き世界の建設に大きな貢献をする機会を附與されたのである。

余は此の戦争は聯合國側の完勝に優勝裡に終焉すると思惟し、此の戦争に於ては全人類に眞實の四海同胞愛の時代を建設しなければならぬと思ふ。

此の際、各国各系統の聯合國側国民は出来得るだけ軍隊を強化し蘇生と自由を獲得するは吾人の任務である。

米国内務長 ハロルド・イクス氏

「尤は米国内務長官イクス氏が近隣の人と共に轉住所から出た日系人を雇用してゐるとの新聞報道が出て後 新聞記者會議でイクス氏の發表した聲明である(千九百四十三年四月十九日)」

日系米国市民七名が東部へ移住して未だ事に關し、余自身として非常に興味を待ったものである。

其の一つは此の戦争が齎らした我等と同等の……此の特異な位置にある……市民の負擔を出来るだけ輕減するのは余の務めであると思つたからである。それが如何なる人種、カラーの人であるにしても我々の市民が必要を期間以上轉住所に止められて置くことには同意することが出来ぬ。

第二の理由は此の市民達は既に加州の農園で農業家としての経験を積んで居り、我等は又斯の如き熟練した農業家を特に必要とするからである。

F・B・I 局長

エドガー・フーバー氏

『司法省豫算案に關して下院豫算委員會で同氏の發表した証言の抜萃』

ハワイに在住する日本人に依つて醸成された悪い紛擾は實際的に過去に於いて皆無であつた。余は且曩にパールハーバー事件以前、日本人に依る密偵的行爲やサボタージュ行爲の皆無であつた事も陳述書で發表した。

パールハーバー事件以前に犯された密偵行爲はあつたがそれは在留日本人に依つて爲されたものであり日本政府の手先と云つて慫ももの及び出先官憲に依つて行はれたものである。

茲に於て余は當F・B・I 局が敵国外人の管理に關し執れる處置に付いて簡單に説明したいと思ふ。

パールハーバー事件突發の直後に於て我等は將來危険性ありと憂慮された人物を大舉檢束收容したのであつた。

ツラブルの核心とある之等の危険人物を除去した此の迅速な行動が執りも直さず米國に於ける日本人獨逸人伊人利人等の間に其の後密偵行爲やサボタージュ行爲の少かつた原因に於つたと思ふ。

現在の米國に於て潛伏的密偵行爲、サボタージュ行爲の少い理由も亦此處にあると思ふ。勿論現在に於ても敵国外國人向に斯くの如き違法行爲の絶對に無きやう常に監視を怠らないうで居るのである。

戦時人的資源委員長。ホール・マクナット氏

〔戦時人的資源委員長ホール・マクナット氏が轉住局長マイヤー氏に發した報告（一九四二年十一月廿七日）〕

W・R・A職業部監督トマス・ホーランド氏が先月人的資源委員會席上於て日系市民轉住者のW・R・Aとの關係及び一般戦時下人的資源問題に就き意見を發表したことが非常な注目を喚起した。

職業部の記録報告は右人的資源研究の材料として充分の智識を我々に提供した。余の知る處ではW・R・Aは西部沿岸から立退を命ぜられた日系市民の就職と生活の建直しと將大膽に又入道當面する保護の下に米人社會に入らしむる爲め既に準備下工作が成立して居る。此の方針は二重の効果を與へる。即ち日系市民である多くの轉住者の爲めと一方には國家が要求する農園及び生産工業に働く幾十の人力を得るの爲めである。

戦時下人的資源委員會はW・R・Aに依り企圖されたる右職業周旋方針を裏書するものであり、政府職業部と補給幹旋等に就き協力を繼續する事を保證する。

布哇軍司令官陸軍中將

デロス・シー・エモン氏

「布哇軍司令官エモンス中將一九百四十三年四月三日發表」

約四千の日系市民戦闘部隊を編成すべく志願兵を募集したに對し充分の布哇日系市民が應募された事を余は深く感謝す。彼等日系市民兵は赫々たる記録を示す事と信ずるものである。今後布哇産業の爲に多大の人的資源を要するが故に、暫時志願兵募集の行はれたい事を望む。

布哇軍情報部長陸軍大佐 ケルデル・ゼー・ファイルダー氏

(今年三月布哇大学で行はれたファイルダー大佐の講演の一部)

軍事上の秘密を發表する事を削り命は此處に確信を以て得る事は日本人自身が日本人社會と而して我々との重なる連絡機関であり、且つ彼等の氣風、要求或は活動に就いての正確なる調査機関である。

斯る至難の問題をヒムラーやローゼンバーク(獨逸人)の如き人ふらば如何に取り扱つたであらうか！ 恐らく敵国人の二人だにも辨明する機會を與えまいであらうと信ずる事は何人も同意する處であらう。然るに布哇では斯る機會が彼等に與えられた事であつて、軍事的に何等の蹉跌なく健全なるものである。此の好結果に進行しつゝ、所以は賢明なる行政の然らしむる處であると共に、布哇に於ける善良なる米國市民の寛容に依つて爲された賜である。我々はローズヴェルト大統領が陳述した民主國民は親善的人間であると云ふ主義を實行して居るのである。

各々任務にある多數の日系市民が忠誠を證明し、軍事上困難なる問題を解決した幾多の具體的方法を發表するには余りに多量の時間を要する。世の愚論錯説に迷はされ居る総ての人々に余が報告したき事は馬鹿らしい同情心や或は愚昧から此の政策を取った者は一人もゐないのである。我々に執つては日本及び日本人は我々の生命と我々の生活狀態を杜絶せずんば止まない處の頑固な大膽者、卑劣な軍人的熱狂者である。彼等の陸海軍を完全と毀滅せねばならぬのである。然るに日系市民の問題は全然別個の問題である。彼等は米國市民であつて彼等が叛逆者である事を證明されざる以上、米國人として取り扱はねばならぬ。

戦時食料統制局長

チエスター・シー・デヴィス氏

〔戦時食料統制局長チエスター・デヴィス氏より轉住局への報告〕

戦時食料統制局は各轉住局より解放された日系市民を農園労働者として雇用する事を奨励する。数千の是等労働者は昨年に於て好成績を挙げたのであるが、現在も必要欝々可からざる農産物の生産に援助して居る。更に多くの労働者を要する時、此の大なる労力資源を最も有益に使用する事に協力する人々は米国々家の戦時工作に眞の貢獻して居るものである。